

# 日本語入力の基本

Ver.1

氏名：

---

---

# 目次

---

目次	1
ワードの起動	3
A：ワードを起動しましょう	3
B：ワードの画面を確認しましょう	4
日本語入力システム	5
A：日本語入力システムのオンとオフを確認してみましょう	5
B：キーボードを使用して、日本語入力システムをオフに切り替えましょう	6
ローマ字入力とかな入力	7
A：ローマ字入力とかな入力について	7
B：かな入力で練習される方へ	8
入力の練習	9
A：「あいうえお」と入力してみましょう	9
B：1文字分スペースをあげましょう	10
C：改行をしましょう	11
D：文字を削除しましょう	12
E：五十音を入力してみましょう	13
F：長音を入力してみよう	16
G：促音（小さい「っ」）を入力してみよう	16
H：拗音（小さい「ゃ、ゅ、ょ」）を入力してみよう	17
I：漢字を入力してみよう	18
J：同音異義語を入力してみよう	19
K：全角カタカナの入力	20

L : 半角カタカナの入力 .....	21
M : 全角アルファベットの入力 .....	22
N : 半角アルファベットの入力 .....	23
O : 記号を入力してみよう - 1 .....	24
P : 記号を入力してみよう - 2 .....	25
単語の入力練習 .....	26
A : 単語を入力してみよう。 .....	26
文節の区切り .....	27
A : 文節ごとに入力してみましよう .....	27
B : 文節を区切りなおしてみましよう .....	28
読み方の分からない文字の入力 .....	29
A : 「ル」を、IME パッドを用いて入力してみましよう。 .....	29
文章の入力練習 .....	31
A : 文章を入力ましよう。 .....	31

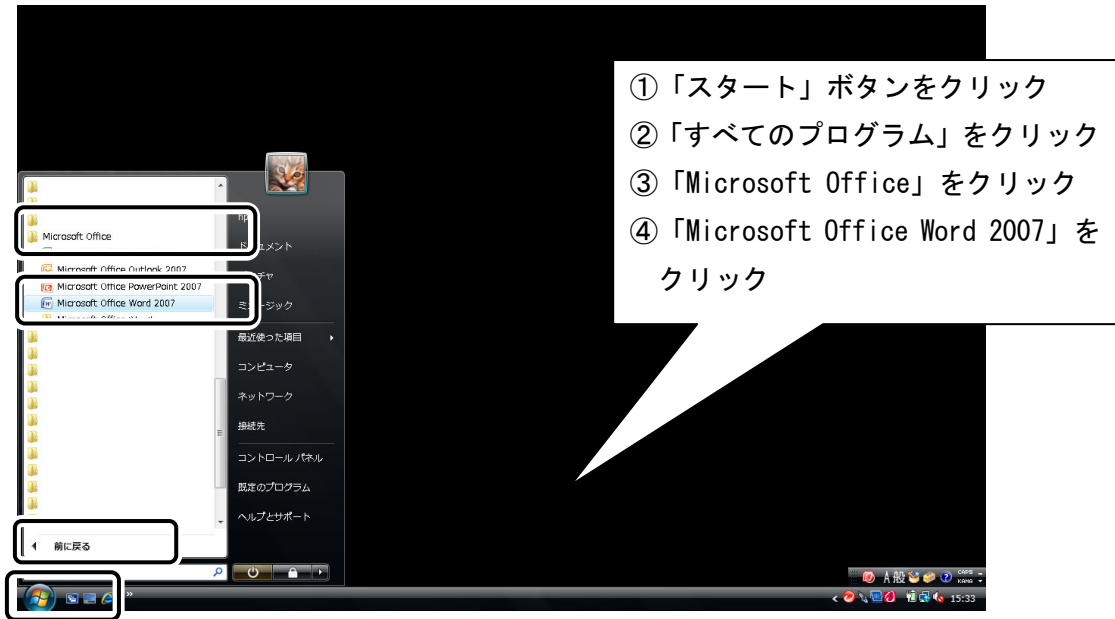
---

# ワードの起動

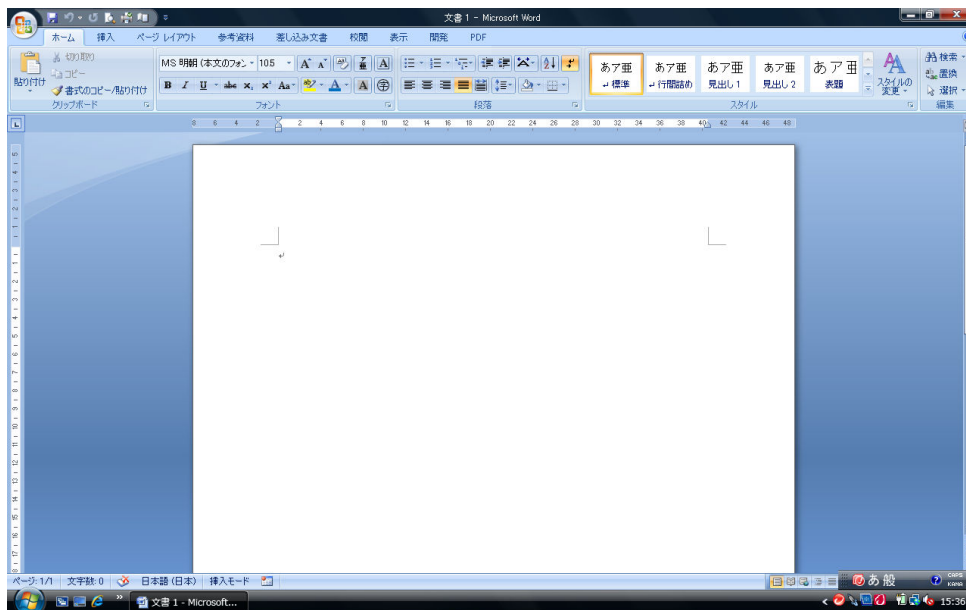
---

## A : ワードを起動しましょう

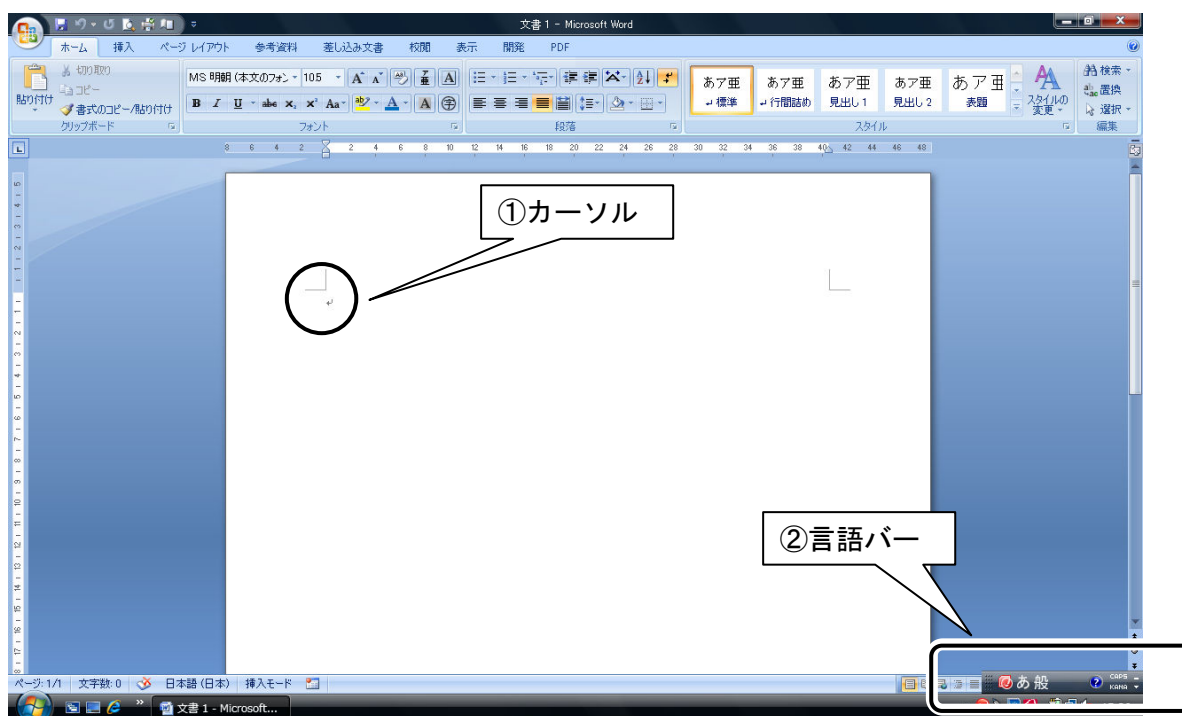
1. Microsoft Office Word 2007 をクリックしましょう。



2. ワードが起動します。



## B: ワードの画面を確認しましょう



### ① カーソル

文字が入力される位置を表します。

### ② 言語バー

日本語入力とアルファベット入力を切り替えます。

---

# 日本語入力システム

---

## A：日本語入力システムのオンとオフを確認してみましょう

パソコンの入力操作の基本は、英語入力になっています。そのため、日本語入力を行うためには、日本語入力を使える状態にする必要があります。

ここでは、日本語入力システムのオンとオフの仕方の確認をしていきましょう。

1. 言語バーの「入力モード」を確認します。



2. 入力モードに「あ」が選択されていれば「日本語入力オン」、「A」が選択されていれば「日本語入力オフ」の状態です。



日本語入力オン



日本語入力オフ

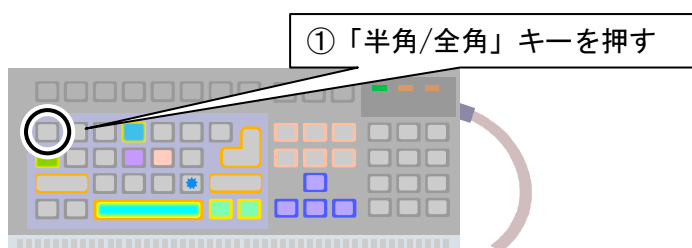
※ワードでは、あらかじめ「日本語入力オン」が選ばれています。

## B：キーボードを使用して、日本語入力システムをオフに切り替えましょう

1. 入力モードが「あ」であることを確認します。



2. キーボード上の「半角/全角」キーを押します。

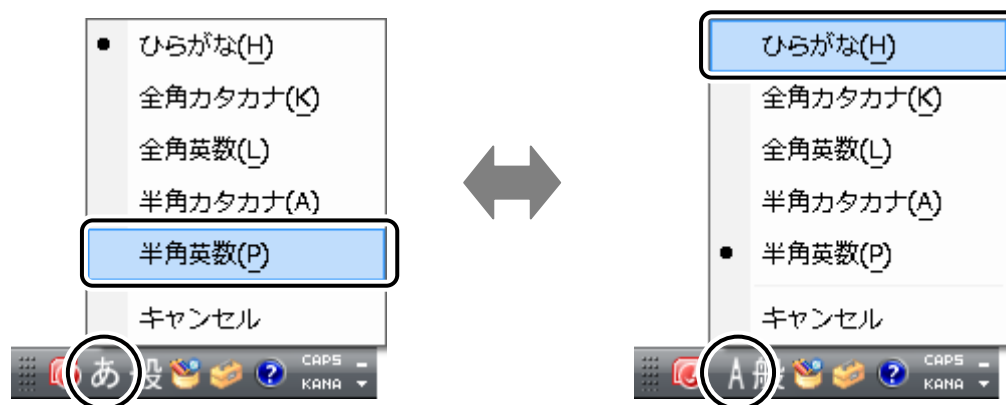


3. 入力モードが「A」に切り替わります。



練習：日本語入力システムをオンに切り替えましょう。

参考 マウスを使用して、日本語入力システムのオン・オフを切り替えることも出来ます。



# ローマ字入力とかな入力

## A : ローマ字入力とかな入力について

日本語を入力する方式には、「ローマ字入力」と「かな入力」があります。それぞれ、一長一短がありますが、教室では、「ローマ字入力」で練習されることをお薦めしています。

### 1. ローマ字入力、かな入力のそれぞれの入力の仕方

#### 【ローマ字入力】



#### 【かな入力】



入力結果

あいうえお

### 2. それぞれの方式の長所と短所

	長所	短所
ローマ字入力	①覚えるキーの数が少ない ②アルファベットや記号を入力しやすい	①ローマ字に慣れる必要がある
かな入力	①入力するキーの数が少ない ②キーボードのひらがなを見ながら入力できる	①覚えるキーの数が多い ②記号の入力がやりにくい



## B：かな入力で練習される方へ

教室のパソコンは、ローマ字入力の設定になっています。ローマ字入力ではなく、かな入力で練習するときには、設定を「かな入力」に切り替えてください。

1. 言語バーの「KANA」をクリックします。



2. 言語バーの「KANA」の部分が押された状態になり、かな入りに切り替わります。



※かな入力を解除するためには、もう一度、言語バーの「KANA」をクリックします。

※上記の方法は、一時的にかな入りに切り替える方法です。常にかな入力を使うようにパソコンの設定を変更する方法は、インストラクターに確認してください。

---

## 入力の練習

---

A:「あいうえお」と入力してみましょう

1. 「あいうえお」と入力します。

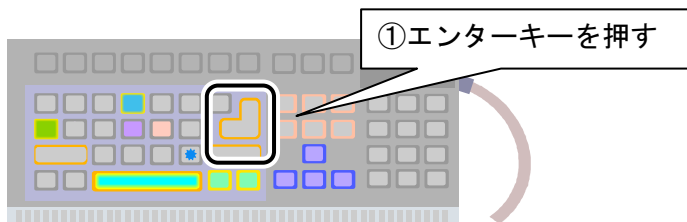
【ローマ字入力】



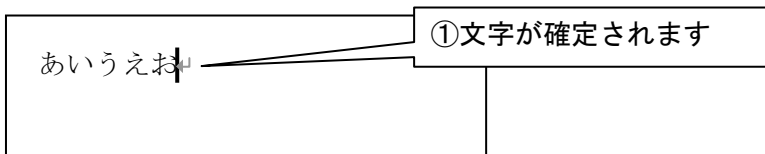
【かな字入力】



2. 「エンターキー」を押して、文字を確定します。

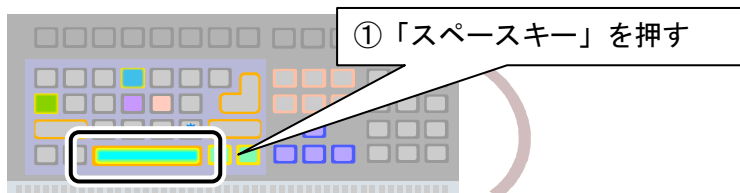


3. 破線が消え、文字が確定されます



## B：1文字分スペースをあけましょう

1. キーボードの「スペースキー」を押します。



2. 一文字分、カーソルが右に移動します。

あいうえお |

3. 続けて、「あいうえお」と入力します。

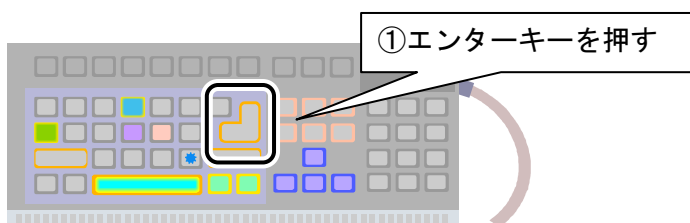
あいうえお あいうえお |

練習：下の完成例を参考に、続きを入力してみましょう。

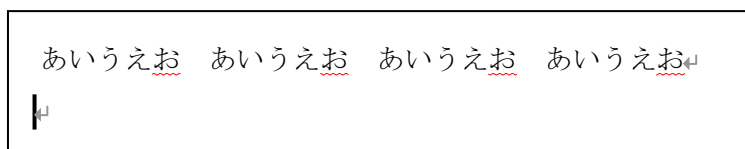
あいうえお あいうえお あいうえお あいうえお |

## C：改行をしましょう

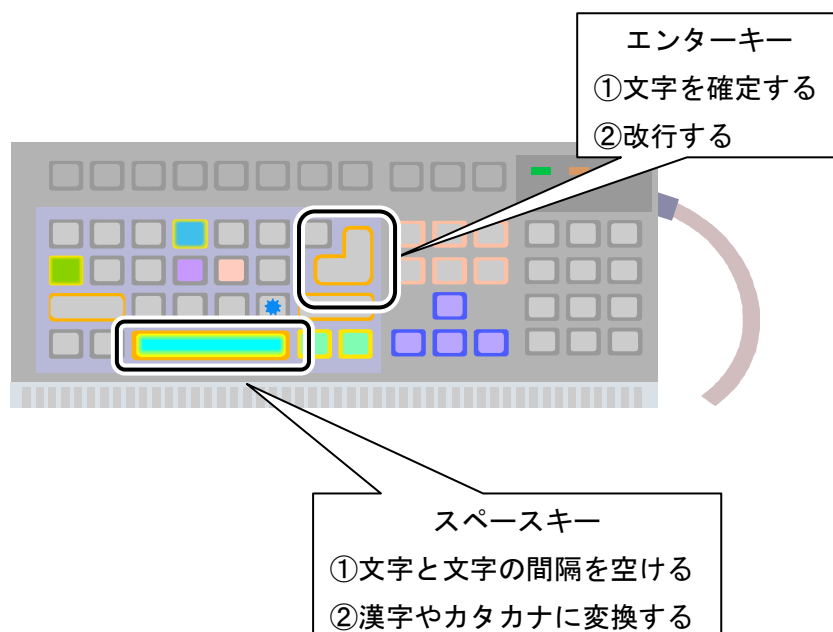
1. キーボードの「エンターキー」を押します。



2. カーソルが下の行に移動し、改行されます。



### スペースキーとエンターキーの役割



## D：文字を削除しましょう

文字を削除するためには、**Backspace** キー（バックスペースキー）、もしくは、**Delete** キー（デリートキー）を使用します。

それぞれのキーは、カーソルを中心として、**Backspace** キーは左側を、**Delete** キーは右側の文字を削除することができます。

1. カーソルを「い」と「う」の間に移動します。

```
あいうえお あいうえお あいうえお あいうえお␣
←
```

2. **Backspace** キーを押して「い」を消します。

```
あいうえお あうえお あいうえお あいうえお␣
←
```

3. **Backspace** キーを使用して、「あいうえお あ」も消してしまいましょう。

```
うえお あいうえお あいうえお␣
←
```

4. 「Delete」キーを押します。

5. 「う」が消えます。

```
えお あいうえお あいうえお␣
←
```

6. 「Delete」キーを使って、残りの文字も消しましょう。

## E: 五十音を入力してみましょう

ローマ字入力の場合は、五十音表を参考に、入力の練習をしてみましょう。

あ行

<b>A</b> ち	<b>I</b> に	<b>U</b> な	<b>E</b> い	<b>O</b> ら
あ	い	う	え	お

か行

<b>K</b> の	<b>A</b> ち	<b>K</b> の	<b>I</b> に	<b>K</b> の	<b>U</b> な	<b>K</b> の	<b>E</b> い	<b>K</b> の	<b>O</b> ら
か		き		く		け		こ	

さ行

<b>S</b> と	<b>A</b> ち	<b>S</b> と	<b>I</b> に	<b>S</b> と	<b>U</b> な	<b>S</b> と	<b>E</b> い	<b>S</b> と	<b>O</b> ら
さ		し		す		せ		そ	

た行

<b>T</b> か	<b>A</b> ち	<b>T</b> か	<b>I</b> に	<b>T</b> か	<b>U</b> な	<b>T</b> か	<b>E</b> い	<b>T</b> か	<b>O</b> ら
た		ち		つ		て		と	

な行

<b>N</b> み	<b>A</b> ち	<b>N</b> み	<b>I</b> に	<b>N</b> み	<b>U</b> な	<b>N</b> み	<b>E</b> い	<b>N</b> み	<b>O</b> ら
な		に		ぬ		ね		の	

は行

H	A	H	I	H	U	H	E	H	O
く	ち	く	に	く	な	く	い	く	ら
は		ひ		ふ		へ		ほ	

ま行

M	A	M	I	M	U	M	E	M	O
も	ち	も	に	も	な	も	い	も	ら
ま		み		む		め		も	

や行

Y	A	Y	U	Y	O
ん	ち	ん	な	ん	ら
や		ゆ		よ	

ら行

R	A	R	I	R	U	R	E	R	O
す	ち	す	に	す	な	す	い	す	ら
ら		り		る		れ		ろ	

わ行

W	A	W	O	N	N
て	ち	て	ら	み	み
わ		を		ん	

➤ 「ん」の入力

ローマ字入力の場合は、「NN」と入力します。

かな入力の場合は、「ん」と入力します。

➤ 「を」の入力

ローマ字入力の場合は、「WO」と入力します。

かな入力の場合は、「を」と入力します。

が行

<b>G</b> き	<b>A</b> ち	<b>G</b> き	<b>I</b> に	<b>G</b> き	<b>U</b> な	<b>G</b> き	<b>E</b> い	<b>G</b> き	<b>O</b> ら
が		ぎ		ぐ		げ		ご	

ざ行

<b>Z</b> っ	<b>A</b> ち	<b>Z</b> っ	<b>I</b> に	<b>Z</b> っ	<b>U</b> な	<b>Z</b> っ	<b>E</b> い	<b>Z</b> っ	<b>O</b> ら
ざ		じ		ず		ぜ		ぞ	

だ行

<b>D</b> し	<b>A</b> ち	<b>D</b> し	<b>I</b> に	<b>D</b> し	<b>U</b> な	<b>D</b> し	<b>E</b> い	<b>D</b> し	<b>O</b> ら
だ		ぢ		づ		で		ど	

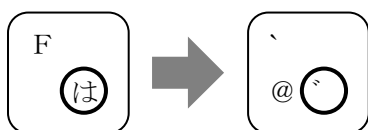
ば行

<b>B</b> こ	<b>A</b> ち	<b>B</b> こ	<b>I</b> に	<b>B</b> こ	<b>U</b> な	<b>B</b> こ	<b>E</b> い	<b>B</b> こ	<b>O</b> ら
ば		び		ぶ		べ		ぼ	

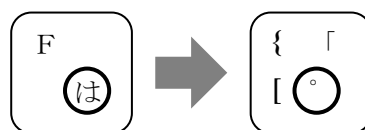
ぱ行

<b>P</b> せ	<b>A</b> ち	<b>P</b> せ	<b>I</b> に	<b>P</b> せ	<b>U</b> な	<b>P</b> せ	<b>E</b> い	<b>P</b> せ	<b>O</b> ら
ぱ		ぴ		ぷ		ぺ		ぽ	

➤ かな入力の場合の「ば」の入力



➤ かな入力の場合の「ぱ」の入力





## F : 長音を入力してみよう

「のーと」と入力しましょう。

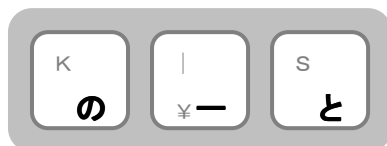
1. 「のーと」と入力し、「エンターキー」を押して、文字を確定します。

【ローマ字入力】



のーと

【かな入力】



のーと

## G : 促音（小さい「っ」）を入力してみよう

「らっば」と入力しましょう。

1. 「らっば」と入力し、「エンターキー」を押して、文字を確定します。

【ローマ字入力】



らっば

【かな入力】



らっば

## H：拗音（小さい「ゃ、ゅ、ょ」）を入力してみよう

「きょう」と入力しましょう

1. 「きょう」と入力し、「エンターキー」を押して、文字を確定します。

### 【ローマ字入力】



### 【かな入力】



※ローマ字入力の方で、上記の入力方法が難しい場合には、「L」を使用して入力することも出来ます。例えば、「LTU」と入力すると「っ」となります。同様の方法で、小さい「あ、い、う」や小さい「ゃ、ゅ、ょ」も入力できます。

## 1: 漢字を入力してみよう

「学力」と入力してみましよう。

1. 「がくりょく」と入力します。

がくりょく

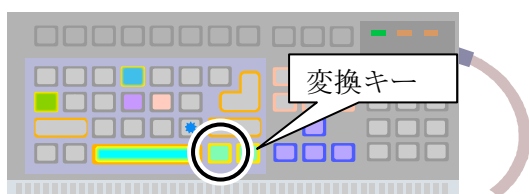
2. スペースキーを押すと漢字に変換されます。

学力

3. エンターキーを押して、文字を確定します。

学力

※漢字に変換するときには、「スペースキー」の他に「変換キー」を使用することができます。「変換キー」を用いて、一度確定した文字を再変換することも出来ます。



## J: 同音異義語を入力してみよう

「箸」と入力してみましよう。

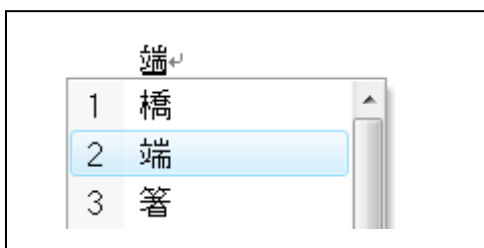
1. 「はし」と入力します。



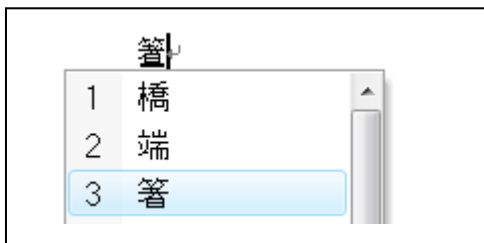
2. スペースキーを押すと、「橋」と変換されます。



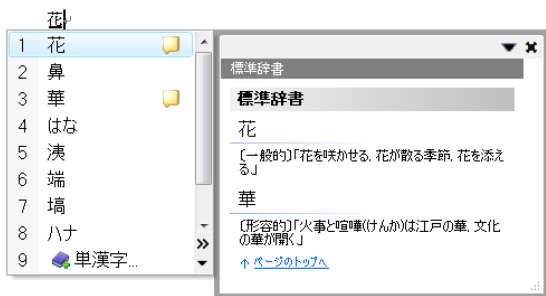
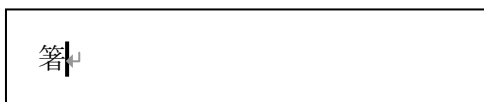
3. もう一度「スペースキー」を押すと、他の変換候補が表示されます。



4. 矢印キー（あるいは、スペースキー）を押して、「箸」を選択します。



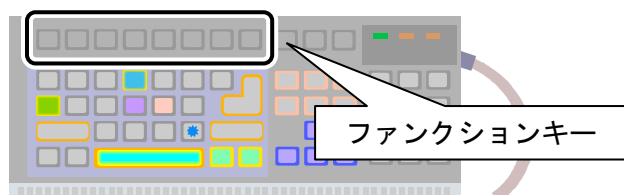
5. エンターキーを押して、文字を確定します。



同音異義語の単語で、どちらを選んだらいいのかわからない場合には、吹き出しで、単語の意味を知らせる機能があります。

## K：全角カタカナの入力

カタカナの入力は、スペースキーや変換キーで変換して入力することができます。今回は、それらを使わずに、ファンクションキーで変換する方法を確認してみましょう。



全角カタカナで、「カード」と入力しましょう。

1. 「かーど」と入力します。

かーど

2. ファンクションキーの「F7」を押すと、「カード」と変換されます。

カード

3. エンターキーを押して、文字を確定します。

カード

## L : 半角カタカナの入力

半角カタカナで「ローマ」と入力しましょう。

1. 「ろーま」と入力します。



ろーま

2. ファンクションキーの「F8」を押すと、「ローマ」と変換されます。



ローマ

3. エンターキーを押して、文字を確定します。



ローマ

## M : 全角アルファベットの入力

「B o o k」を全角アルファベットで入力しましょう。

### 【ローマ字入力】

1. 「BOOK」と入力しましょう。

ぼおk

2. 「F9」を押すと、「b o o k」と表示されます。

b o o k

3. もう一度「F9」を押すと、「BOOK」と表示されます。

BOOK

4. もう一度「F9」を押すと、「B o o k」と表示されます。

B o o k

5. エンターキーを押して、文字を確定します。

### 【かな字入力】

1. 入力モードを「全角英数」に切り替えます。



2. 「BOOK」と入力しましょう。

.b.o.o.k

3. 「F9」を押すと、「b o o k」と表示されます。

b o o k

4. もう一度「F9」を押すと、「BOOK」と表示されます。

BOOK

5. もう一度「F9」を押すと、「B o o k」と表示されます。

B o o k

6. エンターキーを押して、文字を確定します。

## N：半角アルファベットの入力

「Book」を半角アルファベットで入力しましょう。

### 【ローマ字入力】

1. 「BOOK」と入力しましょう。

ぼおk

2. 「F9」を押すと、「book」と表示されます。

book

3. もう一度「F9」を押すと、「BOOK」と表示されます。

BOOK

4. もう一度「F9」を押すと、「Book」と表示されます。

Book

5. エンターキーを押して、文字を確定します。

### 【かな字入力】

1. 入力モードを「全角英数」に切り替えます。



2. 「BOOK」と入力しましょう。

b.o.o.k

3. 「F9」を押すと、「book」と表示されます。

book

4. もう一度「F9」を押すと、「BOOK」と表示されます。

BOOK

5. もう一度「F9」を押すと、「Book」と表示されます。

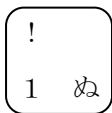
Book

6. エンターキーを押して、文字を確定します。



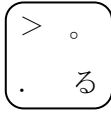

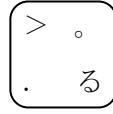
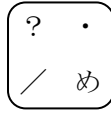
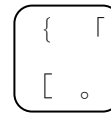
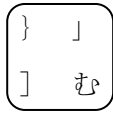
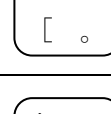
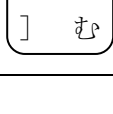
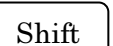
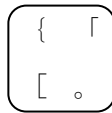
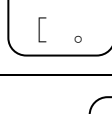



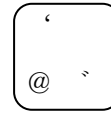


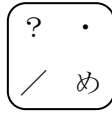

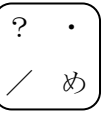


## 0: 記号を入力してみよう - 1

「！」を入力してみましょう。

- ローマ字入力の場合はそのまま、かな入力の場合は、入力モードを「全角英数」に切り替えましょう。
- シフトキーを押しながら  を押します。
- エンターキーで確定します。

### 【その他の代表的記号】

記号	ローマ字入力	かな入力
、 (読点)		 + 
。 (句点)		 + 
・ (中点)		 + 
「 」 (かっこ)	   	 +    
： (コロン)	 	入力モード「全角英数」  
@ (アットマーク)	 	入力モード「全角英数」  
? (クエスチョンマーク)	 + 	入力モード「全角英数」  + 

## P：記号を入力してみよう - 2

「〒」を入力してみましょう。

1. 「ゆうびん」と入力します。

ゆうびん

2. スペースキーを押します。

3. 「〒」と変換されます。(一度で出ないときは、変換候補から選びましょう。)

〒

4. エンターキーを押して確定します。

### 【よく使用する記号一覧】

おなじ	//、々、ゞ
おんぷ	♪
かける	×
かっこ	()、【】、《》
から	～
けいさん	+、-、×、÷、=、ほか
かぶしきがいしゃ	(株)
こめ	※
さんかく	△、▲、▽、▼、ほか
しかく	□、■、◇、◆、ほか
しゃせん	/、\ 
ど	℃
たんい	℃、¥、%、その他
でんわ	Tel
なんばー	No.
ほし	☆、★、※、ほか
ひし	◇、◆
やじるし	→、←、↑、↓、⇒、その他

---

## 単語の入力練習

---

### A：単語を入力してみよう。

#### 1. ひらがなの入力

あい くるま さとう たいよう ひきだし もんだい しかく なまえ ふろく ぜんざい

#### 2. 拗音の入力

しゃかい きょうと きんきゅう しゃいん きゅうしょく わぁー はぁー

#### 3. 漢字の入力

山 桜 愛 机 野菜 仕事 構成  
雑誌 病気 積極的 週刊誌 旧校舎  
花 鼻 取る 撮る

#### 4. カタカナの入力

カルタ ローマ ラジオ デザート パン ウィンドウズ  
アイスクリーム インターネット ソース テレビ イベント ハードディスク

#### 5. アルファベットの入力

W i n e C A T m o u s e G o o d S N O W r e d

#### 6. 記号の入力

% & # @ ( ) 「 」 : ; 。 、 ¥ ・ ~  
♪ (株) TEL ☆ ■ → ※

#### 7. 数字の入力

1 2 3 4 5 6 7 8 9 123456789

---

## 文節の区切り

---

文章を区切る最小単位のことを、文節と呼んでいます。入力に慣れるまでは、なるべく短めに区切って入力をしてみましょう。

### A：文節ごとに入力してみましょう

「未来の架け橋」と入力してみましょう。

1. 「みらいの」と入力します。

みらいの

2. スペースキーで変換をします。

未来の

3. エンターキーで確定します。

未来の

4. 続けて、「かけはし」と入力します。

未来のかけはし

5. スペースキーで変換をします。

未来の架け橋

6. エンターキーで確定をします。

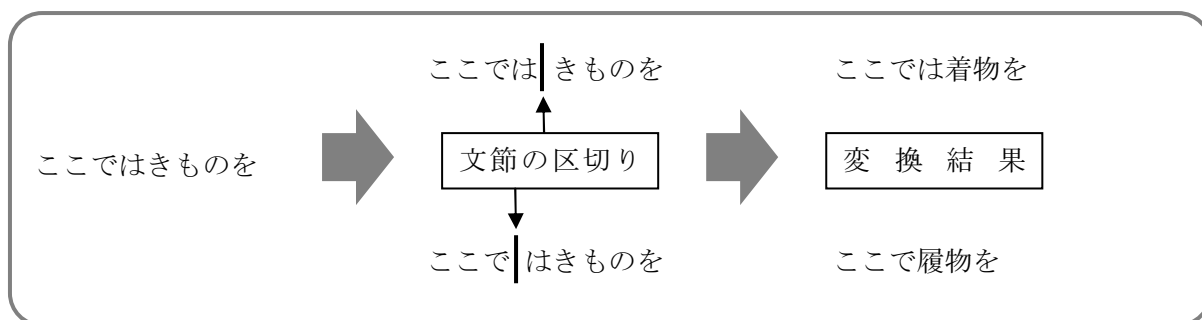
未来の架け橋

## B：文節を区切りなおしてみましょう

文字入力に慣れてくると、ある程度長めに入力して、漢字やカタカナに変換します。その際、コンピュータは、文節ごとに自動的に分割して変換してくれます。

ただし、区切る位置が正しくなかったり、思っていた位置でなかったりすると、思いもよらない変換結果になることがあります。

そのような場合には、自分で正しい位置で区切りなおせば、正しい変換をすることが出来ます。



「今日は歯医者へ行った」と入力してみましょう。

1. 「きょうはいしゃへいった」と入力し、スペースキーを押して、変換しましょう。

今日は医者へ行った

2. **Shift** キーを押しながら←キーを押しましょう。

**きょう**は医者へ行った

3. スペースキーを押して、変換してみましょう

今日歯医者へ行った

4. エンターキーを押して、文字を確定しましょう。

今日歯医者へ行った

## 読み方の分からない文字の入力

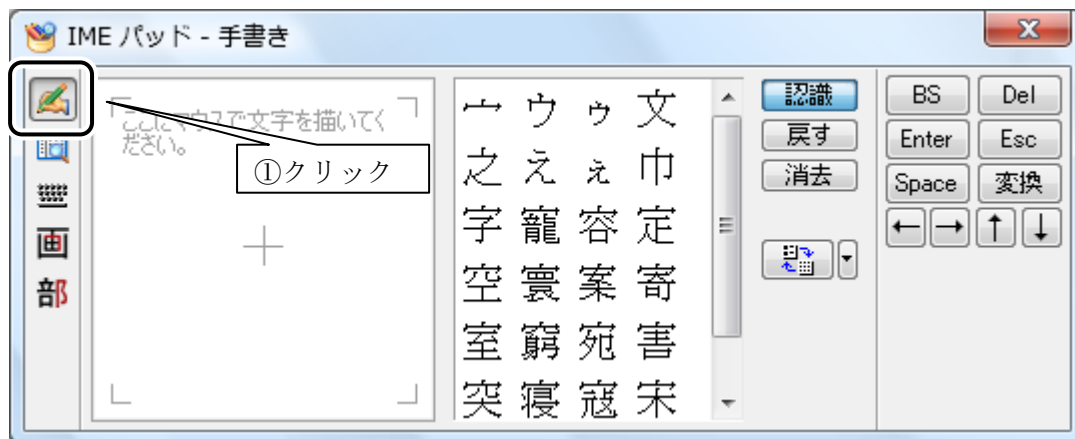
キーボードから文字を入力する場合、文字の読み方が分からない場合には入力できません。そのような場合のために、入力を補助する機能を確認してみましょう。

### A : 「ル」を、IME パッドを用いて入力してみましょう。

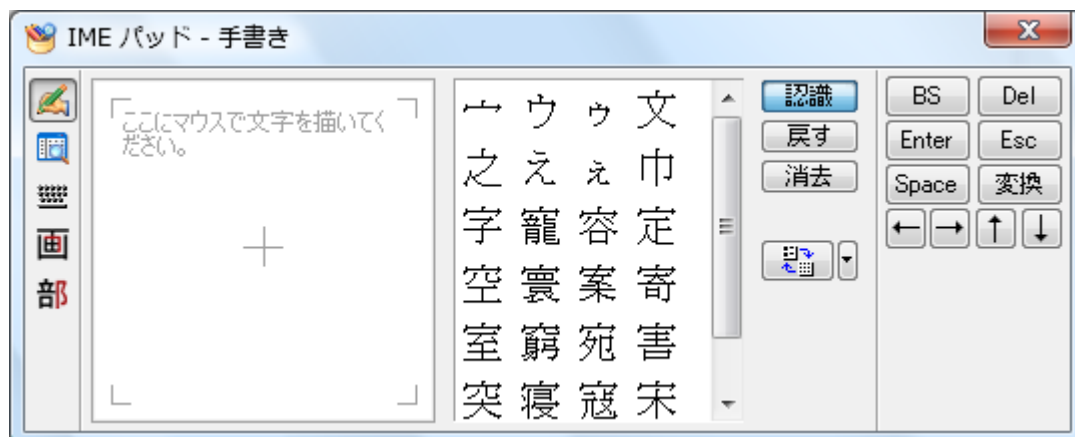
1. 言語バーの「IME パッド」をクリックしましょう。



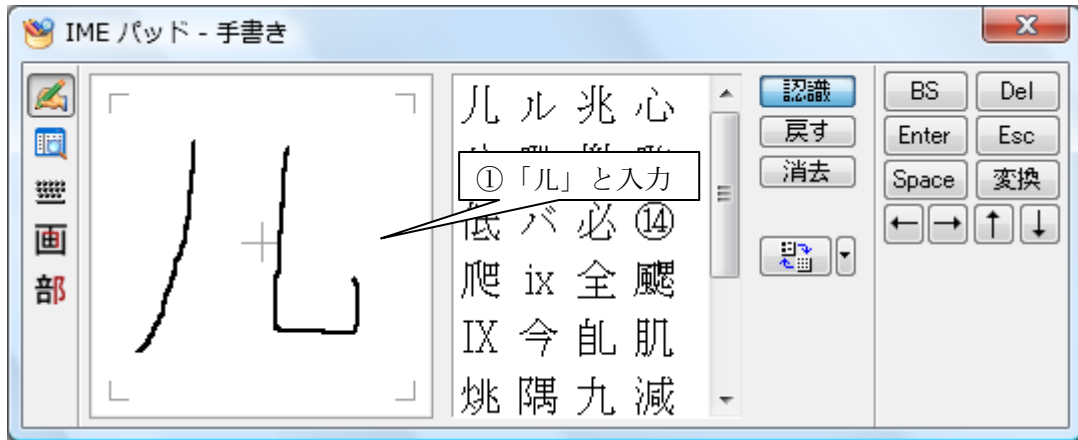
2. 「手書き」をクリックしましょう。



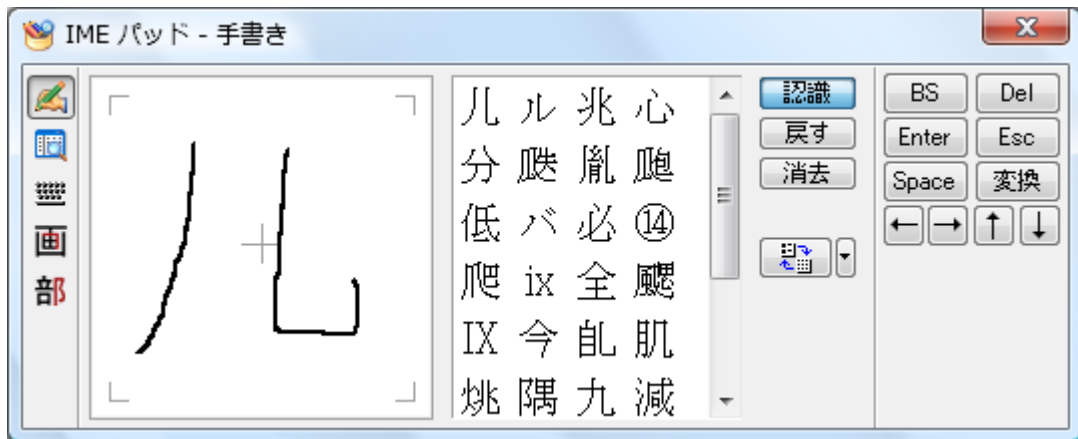
3. 「IME パッド - 手書き」が表示されます。



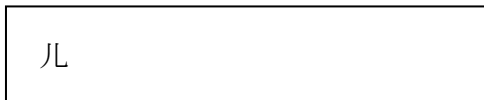
4. 「儿」とマウスでドラッグして入力してみましょう。



5. 「儿」の文字をクリックしましょう。



6. 文字が入力されます。



---

## 文章の入力練習

---

**A : 文章を入力しましょう。**

お手伝いすることはありますか？

母は私に、「荷物を片付けなさい。」と言った。

お昼は、バーベキューにしましょうね！

今日は、ありがとうございました。

彼女は、アンティーク家具にとっても詳しい。

この机は 9,000 円しました。

明日も仕事をがんばりましょう！

ある寒い日、少女は靴も履かずに夜道を歩いていました。もちろん、家を出たときには靴を履いていたのですが、あまりに靴が大きく、少女には、その靴は何の役に立ちませんでした。急いで走ったときに、靴が脱げてしまったのです。(マッチ売りの少女より)